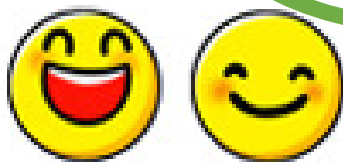


介護予防の集い

女川町高齢者福祉住宅



「歩行が楽になるな」
「仰向けでも苦しくなくなった」
「歩くのが楽になるからまた来てください」



平成25年11月10日

女川町高齢者福祉住宅 第3回

参加して頂いてありがとうございます♪

「集い」調整療法による 個別調整・指導!!

今回で3回目となる活動ですが、現地に到着したところ、大変驚くことができました。毎回楽しみにして下さる方がおり、なんと入口でお出迎えして頂きました。これだけ楽しみにして頂けているということは、しっかり成果も出さなければ...と思いながら本日の活動にあたりました。

参加者の声

「歩行が楽になるな」

「仰向けでも苦しくなくなった」

「歩くのが楽になるからまた来てください」



参加者の声



「歩行が楽になる」

右膝に痛みがあり、完全伸展せず軽度屈曲位姿勢の方。

大腿部筋（特に大腿四頭筋）の緊張を緩和させ、膝関節の調整を行った後、内側広筋を意識させた膝関節伸展運動により、伸展可動域が拡大。

「歩行が楽になるな」と言って、調整療法を受ける前は介助を受け歩行していたが、調整療法を受けた後は一人で歩いてお部屋に戻られ、住宅スタッフの方々が驚いておりました。



「仰向けでも苦しくなくなった」

円背と股関節の屈曲拘縮があり背臥位になると辛いとの事で、大腿四頭筋・腸腰筋・背部筋を調整。その後、「仰向けでも苦しくなくなった」と喜んでおられました。膝関節の調整後は伸展、屈曲とも可動域が拡大し歩行・立位姿勢が安定。

「歩くのが楽になるからまた来てください」とのお言葉を頂きました。

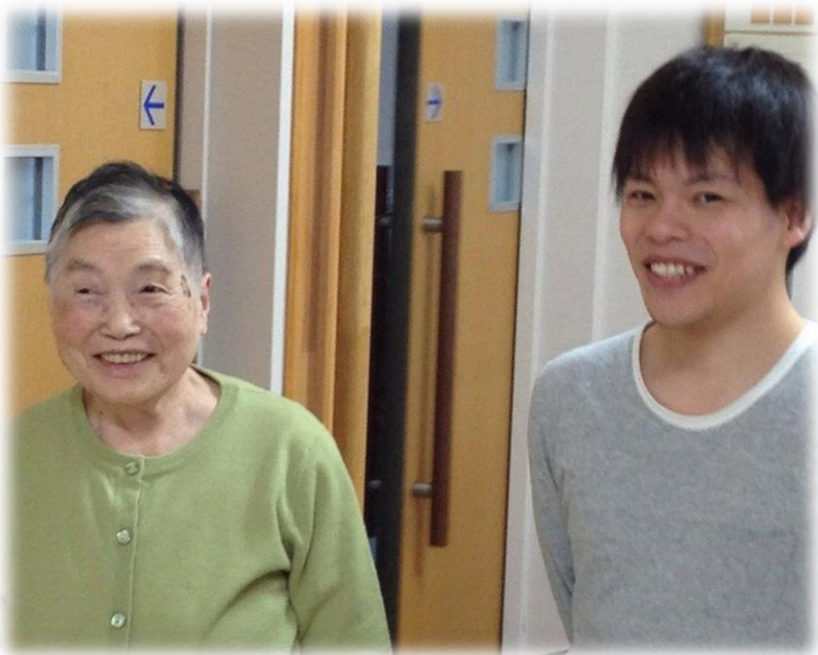


被災された心を

住宅スタッフの方より、気分の落ち込みが激しいと説明を受けていた方。

調整療法を受けるため部屋から出てきた際の表情が明るく、調整療法を受けた後は当スタッフと笑顔で記念写真を撮らせて下さいました。

担当スタッフと信頼関係が構築され、趣味の演歌の話などで盛り上がりおりました。



被災

気持ちの
落ち込み



閉じこもり



笑顔に

他の住居者と交流を持ちたがらない方も、担当スタッフには心を開いてきており運動指導などに耳を傾けてくださっています。徐々にではありますが、調整療法に興味を持ってきています。